

<添付資料 #7C-1>

HPC ワークショップ

“次世代における大規模バイオロジカル コンピューティングのためのハードウェア&ソフトウェア”

HPC Workshop 'Hardware and software for large-scale biological computing in the next decade'

Tuesday December 11: Introduction

- 7:30-9:30 Breakfast
- 9:00 Morning tour
- 13:00-14:30 Lunch
- 14:30-16:00 Introduction to OIST and visit to campus site
- 19:00-21:00 Reception & Dinner

Wednesday December 12:

- 7:30-9:30 Breakfast
- 10:00 **E. De Schutter, K. Doya and K. Stiefel** / Welcome and brief statement of goals of the workshop

Session 1: Introduction

- 10:30 **Tetsuya Sato** / Biggest Computer for Greatest Challenges
- 11:20 Coffee break
- 11:40 **Phil Andrews** / NSF Supercomputing: Supercomputing Centers Program to Tera Grid to Track 1 & 2 awards
- 12:30 General discussion
- 13:00-14:00 Lunch

Session 2: Hardware: from multicore to reconfigurable hardware

- 14:00 **Thomas Sterling** / Multicore Approaches to HPC
- 14:50 **John Wawrzyniek** / Reconfigurable Devices and Biological Computing
- 15:40 Coffee break
- 16:00 **Seth Goldstein** / Reconfigurable Computing Without Pain
- 16:50 General discussion
- 19:00-21:00 Dinner

Thursday December 13:

- 7:30-9:30 Breakfast
- Session 3: Software and applications
- 09:30 **John Shalf** / Programming Models and Algorithm Design for Power-Efficient Scientific Computing
- 10:20 **Robert Grossman** / Data Grids, Data Clouds and Data Webs :
A Survey of High Performance and Distributed Data Mining, and Data Integration
- 11:20 Coffee break
- 11:30 **Masakazu Sekijima** / Application of HPC to the analysis of disease related protein and the design of novel proteins
- 12:20 General discussion
- 13:00-14:00 Lunch

Session 4: HPC applications on the Blue Gene

- 14:00 **Alan Gara** / BlueGene Supercomputing for Biological Systems; Past, Present and Future
- 14:50 **Felix Schuemann** / The Blue Brain Project -- A Challenge for Neurobiology and HPC
- 15:40 Coffee break
- 16:00 **Michael Hines** / NEURON on Supercomputers
- 16:50 General discussion
- 19:00-21:00 Dinner

Friday December 14:

- 7:30-9:30 Breakfast
- Session 5: Japan
- 9:30 **Tadashi Watanabe** / The Japanese Next Generation Supercomputer Project
- 10:20 General discussion
- 11:20 Coffee break
- 11:30 Formulation of recommendations for OIST HPC facility
- 12:30-14:00 Lunch
- 19:00-21:00 Dinner

< 添付資料 #9A >

研究成果の普及活動・広報活動

大学院大学の関心を高めること等を目的に、講演会やメディアを通じ、研究成果の普及や広報活動を計 15 件行った。

1. 青少年の科学技術に対する理解と大学院大学への関心を高めることを目的に、機構の代表研究者やBOGメンバーによる県内の中学生や高校生、大学生を対象とした講演や学校訪問が計9件行われた。
日時：平成19年7月10日 場所：恩納村立山田中学校 参加者：約30名 訪問者：ジェローム・フリードマン博士、李遠哲博士、尚弘子博士（BOGメンバー） クリス・タン博士（スペシャルアドバイザー）
日時：平成19年7月10日 場所：恩納村立恩納中学校 参加者：約30名 訪問者：ジェローム・フリードマン博士（BOGメンバー）
日時：平成19年7月10日 場所：琉球大学 参加者：約250名 訪問者：李遠哲博士（BOGメンバー）
日時：平成19年10月15日 場所：沖縄県立那覇高校 参加者：約1,500名 訪問者：トーステン・ヴィーゼル博士（BOG共同議長）
日時：平成19年10月26日 場所：琉球大学 参加者：約15名 訪問者：クラウス・シュティーフエル博士
日時：平成19年11月16日 場所：沖縄県立宮古高校 参加者：約1,000名 訪問者：遠藤昌吾博士（代表研究者）
日時：平成20年2月25日 場所：恩納村立山田中学校 参加者：約60名 訪問者：政井一郎博士（代表研究者）
日時：平成20年2月29日 場所：恩納村立安富祖中学校 参加者：約50名

訪問者：メリー・アン・プライス博士（代表研究者）
日時：平成20年3月12日 場所：昭和薬科大附属高校（浦添市） 参加者：約80名 訪問者：ゴードン・アーバスノット博士（代表研究者）

2. 県民の科学技術に対する理解と大学院大学への関心を高めることを目的に、BOGメンバーによる講演が計2件行われた。
日時：平成20年2月16日 場所：うるま市石川会館（うるま市が開催したサイエンス・フォーラム） 参加者：約20名 講演者：有馬朗人博士（BOG共同議長）
日時：平成20年3月24日 場所：沖縄ハーバービューホテル（沖縄県が開催したG8プレイベント） 参加者：約250名 講演者：有馬朗人博士（BOG共同議長）

3. 大学院大学先行研究プロジェクトと大学院大学への関心を高めることを目的に、県内の医療従事者や医学生を対象としたBOGメンバーによる講演が県内の病院で1件行われた。
日時：平成19年10月15日 場所：沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター 参加者：約200名 講演者：トーステン・ヴィーゼル博士（BOG共同議長）

4. 大学院大学への関心を高めることを目的に、機構主催のサマーコース参加者を対象としたBOGメンバーによる講演が2件行われた。
日時：平成19年7月7日 場所：シーサイドハウス 参加者：約30名 講演者：ジェローム・フリードマン博士（BOGメンバー）
日時：平成19年7月10日 場所：シーサイドハウス 参加者：約30名 講演者：トーステン・ヴィーゼル博士（BOG共同議長）

5. 県民の大学院大学への関心を高めることを目的に、代表研究者とユニットのメンバーが県スポンサーの広報番組に出演した。
取材日：平成19年9月13日 放送日：平成19年9月29、30日 出演者：エリック・デ・シュッター博士（代表研究者）およびユニットのメンバー

<添付資料#9B>

年次報告書・ニュースレター配布先

機構の目的が大学院大学の設置準備と、国際的に卓越した科学技術に関する研究を行うことであることをかんがみ、主要なステークホルダーである関係府省と地方公共団体、研究機関に対して、また、大学院大学への関心を高めることを目的に機構主催のワークショップ等の参加者に対しても年次報告書とニュースレターを配布した。

1. 関係府省
内閣府沖縄振興局
文部科学省高等教育局
内閣府独立行政法人評価委員会委員

2. 地方公共団体
沖縄県
沖縄科学技術大学院債学設置促進県民会議会員
恩納村役場
うるま市
沖縄市
名護市

3. 研究機関
独立行政法人理化学研究所
独立行政法人科学技術振興機構
独立行政法人日本科学技術振興財団

4. 機構内部
運営委員
スペシャルアドバイザー
代表者研究者
研究員
職員

5. その他
機構発足2周年記念イベント参加者
国際ワークショップ・サマーコース参加者
就職説明会参加学生
訪問者